

日之影町告示第60号

令和5年第4回日之影町議会臨時会を次のとおり招集する

令和5年7月18日

日之影町長 佐藤 貢

- 1 期 日 令和5年7月31日
 - 2 場 所 日之影町役場（議会議場）
-

○開会日に応招した議員

久保 優一君	小谷 幸治君
小川 輝久君	甲斐 睦彦君
一水 輝明君	河野 學君
甲斐 徳仁君	高館 英嗣君

○応招しなかった議員

なし

令和5年 第4回 日之影町議会臨時会会議録（第1日）

令和5年7月31日（月曜日）

議事日程（第1号）

令和5年7月31日 午前10時00分開会

- 日程第1 会議録署名議員の指名
日程第2 会期の決定
日程第3 報告 諸般の報告
日程第4 報告 議長が決定した議員派遣
日程第5 議案第40号 工事請負契約の締結について
-

本日の会議に付した事件

- 日程第1 会議録署名議員の指名
日程第2 会期の決定
日程第3 報告 諸般の報告
日程第4 報告 議長が決定した議員派遣
日程第5 議案第40号 工事請負契約の締結について
-

出席議員（8名）

1番 久保 優一君	2番 小谷 幸治君
3番 小川 輝久君	5番 甲斐 睦彦君
6番 一水 輝明君	7番 河野 學君
8番 甲斐 徳仁君	9番 高館 英嗣君

欠席議員（なし）

欠 員（なし）

事務局出席職員職氏名

局長 富士本浩一郎君 録音係（総務課主査） 佐藤 将仁君

説明のため出席した者の職氏名

町長	……………	佐藤 貢君	副町長	……………	甲斐 敏弘君
教育長	……………	橋本 範憲君	総務課長	……………	押方 明弘君
会計管理者	……………	津隈 富美君	地域振興課長	……………	工藤 富士君
町民福祉課長	……………	押方 誠君	税務課長	……………	谷川 靖君
農林振興課長	……………	平川 誠二君	建設課長	……………	佐藤 尚君
保健センター所長	………	甲斐 康弘君	病院事務長	……………	甲斐しおり君
教育次長	……………	平川 浩二君	代表監査委員	……………	小林 政隆君

午前10時00分開会

○議長（高館 英嗣君） おはようございます。

まず、会に先立ちまして御案内いたします。上着の着用につきましては、個人の判断に委ねますので、暑いときはお脱ぎになって会に臨んでいただきたいと思います。

それでは、これから令和5年第4回日之影町議会臨時会を開会します。

直ちに本日の会議を開きます。

日程第1. 会議録署名議員の指名

○議長（高館 英嗣君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本臨時会の会議録署名議員は、会議規則第127条の規定により、議長において、1番、久保優一君、2番、小谷幸治君を指名します。

日程第2. 会期の決定

○議長（高館 英嗣君） 日程第2、会期の決定についてを議題とします。

お諮りします。本臨時会の会期は、本日1日にしたいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高館 英嗣君） 異議なしと認めます。よって、会期は本日1日に決定いたしました。

日程第3. 諸般の報告

○議長（高館 英嗣君） 次に日程第3、諸般の報告を行います。

まず、本日の会議に出席を求めた説明員の職・氏名は、お手元に配付したとおりであります。

議長報告については、さきに報告書を配付していますので、これを報告といたします。

以上で、諸般の報告を終わります。

日程第4. 議長が決定した議員派遣

○議長（高館 英嗣君） 次に、日程第4、議長が決定した議員派遣を報告します。

議長が決定した議員派遣は、7月3日、九州中央道整備促進西臼杵議会特別委員会による県北地区での要請活動に甲斐徳仁君、河野學君を派遣。

7月18日と19日の2日間、九州中央道整備促進西臼杵議会特別委員会による国土交通省九州地方整備局への要望活動に甲斐徳仁君、河野學君を派遣。

7月19日、宮崎市で開催された新議員研修会に久保優一君を派遣。

7月25日、宮崎市で開催された議会運営委員会正副委員長研修会に委員長、小谷幸治君、副委員長、甲斐睦彦君を派遣。

議長が決定した議員派遣は、以上4件であります。

日程第5. 議案第40号

○議長（高館 英嗣君） 次に、日程第5、議案第40号工事請負契約の締結についてを議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。町長、佐藤貢君。

〔町長登壇〕

○町長（佐藤 貢君） 提案理由を説明する前に、昨日の消防操法大会におかれましては、議会の議員の皆様方にも御臨席をいただきまして、無事終わることができました。まず、御礼を申し上げさせていただきます。ありがとうございました。

それでは、議案第40号工事請負契約の締結についての提案理由を説明いたします。

令和5年度学校施設環境改善交付金事業日之影中学校大規模改造工事は、令和5年7月27日、4社による指名競争入札の結果、木田建設株式会社花落札しましたので、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき議会の議決を求めます。

なお、工事場所は、日之影町大字岩井川大人、日之影中学校で、工期は令和5年8月から令和6年3月までの予定であります。

よろしく御審議のほどお願いいたします。

〔町長降壇〕

○議長（高館 英嗣君） 以上で提案理由の説明終わりました。

これから質疑を行います。甲斐徳仁君。

○議員（8番 甲斐 徳仁君） それではお尋ねをしたいと思います。この落札率は何%ですか。

○議長（高館 英嗣君） 答弁求めます。建設課長。

○建設課長（佐藤 尚君） 当工事の入札の落札率でございますが、予定価格税抜きの1億1,755万6,000円に対しまして、落札額が1億1,600万ということで98.7%ございました。

以上です。

○議長（高館 英嗣君） 甲斐徳仁君。

○議員（8番 甲斐 徳仁君） 約99ですか、98.7%ということでございますが、全協でも御説明がございました。物価高騰等によりまして、今回当初の入札より若干遅れたということでもあります。

財源的な内訳等につきましても、全協のほうで補助率が1,000万ちょっと、1,500万ほどでしたか、記載してある数字からいうと1,500万ほどということでもありました。

問題は後です、トイレじゃなんじゃかんじゃいろいろ、後でまた整備を進めていかななくてはならないということでございますけれども、そこら辺りには十分な物価高騰等の対策も加味をして、ざっくり、予算的には、どれぐらいを補正で考えておるのかをお尋ねしたいと思います。

○議長（高館 英嗣君） 答弁を求めます。教育次長。

○教育委員会教育次長（平川 浩二君） 今現在ですが、精査中の部分もございまして、今後の補正につきましては、2,300万円程度を、想定をしております。

以上となります。

○議長（高館 英嗣君） 甲斐徳仁君。

○議員（8番 甲斐 徳仁君） 現在、精査中ということでもございまして、2,300万ほどということで補正の予定という説明がございました。

これは十分というのが、どこまでもって十分かはわかりませんし、物価高騰といえ、なかなか基準が線引きも難しい部分もあろうかというふうに思いますが、全協でも説明をいただきましたけれども、本町からの一財分が、おおむねあれから数日たっておりますので、所管課のほうでどれぐらい数字が固まったのか、これはあくまでも予測の範囲になりますけれども、おおむね金額ベースでお聞かせをいただきたいと思っております。

○議長（高館 英嗣君） 教育次長。

○教育委員会教育次長（平川 浩二君） 先ほど2,300万程度の増額を想定しているというふうにお話しさせていただいておりますが、それを含めまして、一般財源の持ち出しにつきましては、3,300万円弱ぐらいかなというふうに、今のところを想定させていただいております。

以上となります。

○議長（高館 英嗣君） よろしいでしょうか。ほかに質疑はありませんか。小川輝久君。

○議員（3番 小川 輝久君） 物価高騰、物価高騰とよく耳にする言葉であります、全国的にはこれほどこの業者、どこの物品においても、物価高騰は否めないところではありますが、今回のエレベーター事業につきましては、最も大きな増額の要因というのは、どういうふうな、どのようなものを想定して、受け止められているかを伺いたいと思います。

○議長（高館 英嗣君） 建設課長。

○建設課長（佐藤 尚君） 今回の物価高騰による増額であります、大きなもので、まず一つは、校舎本体とエレベーターとを接続するジョイント部のアルミ材、アルミジョイントの物価高騰が約40%増でありまして、また鉄骨に用いる鋼材関係の物価高騰が約28%の増となっております、2,000万強の補正を組ませて貰う、9月の議会で上程させていただこうと思っているところでございます。

○議長（高館 英嗣君） 小川輝久君。

○議員（3番 小川 輝久君） アルミジョイントということを知りましたが、こういったものの価格の高騰というのは、本当に1か月、2か月単位で変わってくるだろうと思いますが、当初この工事を算定したときと、物価高騰による価格の40%、あるいは鋼材の18%増というのは、この間3か月、何か月ぐらいを要しての増となっていると思われませんか。

○議長（高館 英嗣君） 建設課長。

○建設課長（佐藤 尚君） 先ほど申しました鉄骨関係とアルミのジョイント関係につきましては、昨年度、設計会社が業者に見積りを取った額でございまして、それが昨年度末ですので、今回設計を見直しが7月になりますので、約5か月ぐらいの間の高騰と思われまして。

以上です。

○議長（高館 英嗣君） よろしいでしょうか。ほかに質疑はないでしょうか。久保優一君。

○議員（1番 久保 優一君） 私の質問は、物価高騰とは全く関係ないところであるのですが、このエレベーター工事の予算について、町民の方から少し予算がかかりすぎるのではないかと、生徒同士の助け合いで予算をかけずに何とかできるのではないかという意見がありました。

私としては、生徒の教育の機会は平等に与えられるべきであり、今回のエレベーター工事、正当の理由があると思います。必ず必要だと思うのですが、私のまだまだ経験に乏しい知見と経験では、町民の方を納得させるような、少し返答ができないときがあります。

そこで、教育長のほうに、エレベーター工事の必要性を、いま一度教えていただきたいと思えます。

○議長（高館 英嗣君） 答弁を求めます。教育長。

○教育長（橋本 範憲君） 久保議員の御質問にお答えいたします。

まず初めは、今、宮水小学校6年生の児童が、保護者ともに地元の中学校までは卒業したいと

というのが、熱い思いがありましたので、それに応えたい。

現在、宮水小では、昇降機といいまして、階段をずうっと上る、そこに座らせるのを上るのがずっと、宮水小は造りが四角ですから、階段を上りやすいです。

初めは、それを使えないかと中学校でも考えました。しかし、まず踊り場といいますか、1階から2階に上がる、回転するんですが、あそこが狭すぎて、中学校はまず駄目だというのがありました。

それから、センターコア、真ん中の音楽室とか美術室がある、あそこは全く昇降機が使いません。それで、実は私たちも、ボランティア、生徒、職員によって、彼の車椅子を持ち上げる方法はどうかというのも話題には上りました。

しかし、それはあくまでもボランティアであって、もし階段を踏み外したり、生徒が持っているところでちょっと手が滑ったりして、けがとか、事故があつたらとんでもないことになる。責任はとても子供たちに負わせるのは大変だということで、やはり万全を期するために、これはエレベーターを設置するしかないなという結論に達したところです。

これからの、彼だけに限らず、今後、学校ではいろんな方が、やはり、いろんな生徒も来るでしょうし、またお客さんも高齢者の方や障害がある方もいらっしゃいますので、そういう面では、やはり学校にエレベーターが、これから必要になってくるだろうなというのもありましたので、その機会、今回の機会を利用してエレベーターを設置したい。

可能な限り、例えば学校内での車椅子を押してあげたりとか、遊んだりとか、運動したりというのは、生徒のボランティアは、もちろんしてもらつつもりではありますけれども、階段に関しましては、やはり安全性という面からエレベーター設置というところで、御理解を願いたいと思います。

以上でございます。

○議長（高館 英嗣君） よろしいですか。ほかに質疑はないでしょうか。甲斐徳仁君。

○議員（8番 甲斐 徳仁君） 予算が伴う案件でありますので、せつかくの機会に総務課長もおられますので、財政を預かっておられる所管課長のほうにお尋ねしたいと思います。土曜日の新聞報道で地方交付税、対比の0.2減というふうな数字が記載されておりましたが、そのことについて、総務課長としての御見解をお聞かせください。

○議長（高館 英嗣君） 総務課長。

○総務課長（押方 明弘君） ただいまの御質問にお答えいたします。

交付税のほう、今のお話がありましたように公表されておりますけれども、今年度につきましては、宮崎県では今おっしゃられてますように、全体で0.2%の増となっております。全国で見ますと、2.3%の増という形で交付税が決定をされたところでございます。

そういう中で、本町におきましては、24億4,500万ということで、今回決定を受けております。昨年の決算と比べますと、4,000万円ほど少ないという形になっているんですけども、昨年度につきましては、12月に国の補正によりまして追加交付がございまして、その分が臨時経済対策等ということで交付がっております。

その部分が今回少ないのか、今年度の交付額と昨年の決算ベースに比べますと、その部分が少ないのかなというふうに思っているところでございます。

以上です。

○議長（高館 英嗣君） 甲斐徳仁君。

○議員（8番 甲斐 徳仁君） ただいま総務課長のほうから御説明がございました。約4,000万ほど、金額ベースでいう説明であります。約0.2%ですから、金額的にはそういうふうになろうかと思いますが、今の総務課長の答弁で、町長どうですか。間違いございませんか。

○議長（高館 英嗣君） 町長、佐藤貢君。

○町長（佐藤 貢君） 要は、総務課長が申し上げたのは、入ってきた分が再算定で入ってきたと、今度は当初でないという答弁ですから、間違っていない事実でありますから、私はずっと財政やっていますので、収入が増えたら交付税が減らされるというのが、普通交付税の原則でありますから、ということは結局、日之影町の収入、税金とか、個人住民税とか、そういったものが増えたというふうに思っております。

というのは、私が思っておりますのは、旭化成の方々が五ヶ瀬川発電所を改修されました。そうしますれば、減価償却ということで、国のほうから日之影町に大きな固定資産の交付金が入ります。たしか、正式な数字は聞いておりませんが、決済をしましたので、数千万単位で増えます、その分が、旭化成さんから入る分が。

ということは、結局その分の歳入が算定されますので、差し引いて交付税が減るということで、私は理解しています。多分、総務課長もそういうふうなことは知っとるんだろうと思いますが、数字的ないきさつについては、総務課長が言ったようなことも一因だろうと、私は認識しております。

以上です。

○議長（高館 英嗣君） 甲斐徳仁君。

○議員（8番 甲斐 徳仁君） 確かに、旭化成さんが大変な事業費用を伴いまして、本町に整備をされました。その関係が固定資産税関係等々の収入増による部分というのはかなり大きいんだろうというふうに思いますが、この金額が確定値であれば、これが4,000万より上回ったのかどうなのかということについては、総務課としては、そこら辺は、リサーチはされていますか、金額的に。

○議長（高館 英嗣君） 総務課長。

○総務課長（押方 明弘君） ただいまの答弁にお答えいたしますけれども、今年ですね、今年の交付税の算定の基準のところの固定資産税の減価償却のところを見てみますと、やはり5年度は、先ほど町長が答弁されましたように、増額となっております。その部分が5,500万円程度増額ということになっております。

以上でございます。

○議長（高館 英嗣君） 甲斐徳仁君。

○議員（8番 甲斐 徳仁君） それは4年度ですか、今、課長がお話しされましたのは、3年度、5年度。4年度と比較で5,000万ほどということは、実質は1,000万プラスということですね。歳入ベースだけで考えればです。5年度がもうその確定数値ということになれば、ひとまず安心をいたしました。

以上です。

○議長（高館 英嗣君） ほかに質疑はないでしょうか。一水輝明君。

○議員（6番 一水 輝明君） 今回の改築、増築工事についてですが、予算説明からいろんな（ショウ）管理も、全協のほうでもいろいろ説明がございましたが、この中学校、非常に複雑な設計でできておまして、私も、中学校に1回行ったぐらいでは、なかなか行き着かない教室もあるぐらい複雑多様化しておりますが、今回の工事を進める上で、支障があったり、あるいは設計変更が予想されるような件があるのか、ないのかについて答弁をお願いします。

○議長（高館 英嗣君） 建設課長。

○建設課長（佐藤 尚君） 今回の工事で何らかの支障が生じて、変更増しようとかになることがあるのではないかと御質問だと思いますが、以前、くいを打つときに、大型のくい打ち機が入らないということで、小型の回転させて掘削しながら、くいを圧入する機械があるんですが、それを校舎内に入るときに、下がインターロッキングになっているのですが、それを傷める可能性があるということで、一応鉄板は敷くようにはしているんですが、それにはみ出した部分とか、そういうところが傷めて設計変更になる可能性があるということで、それも見込みまして、9月の議会で補正をさせていただこうと思っているところでございます。

以上です。

○議長（高館 英嗣君） 一水輝明君。

○議員（6番 一水 輝明君） そういうことも加味してということであれば、おおむねこの予算内でできる、工期も含めてということで理解してよろしいでしょうか。

○議長（高館 英嗣君） 建設課長。

○建設課長（佐藤 尚君） そういうふうに工事に支障が出ることは、多少見込んでおりますの

で、この額で十分間に合うとは思っているところでございます。

以上です。

○議長（高館 英嗣君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高館 英嗣君） 質疑なしと認めます。これをもって質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高館 英嗣君） 反対討論、賛成討論なしと認めます。これをもって討論を終結します。

これより採決します。日程第5、議案第40号について、原案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（高館 英嗣君） 起立多数であります。よって議案第40号は原案のとおり可決されました。

河野學君。

○議員（7番 河野 學君） 緊急質問であります。7月の高千穂市場での子牛価格の下落の対応について緊急質問をしたいので、同意を求めます。

○議長（高館 英嗣君） ただいま河野學君から、7月の高千穂市場での子牛価格下落の対応について緊急質問をしたいとして同意を求められました。

お諮りします。河野學君の緊急質問に同意の上、日程に追加し、追加日程第1として発言を許すことに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（高館 英嗣君） 異議なしと認めます。よって、河野學君の緊急質問に同意の上、日程に追加し、追加日程第1として発言することに決定いたしました。

追加日程第1. 緊急質問

○議長（高館 英嗣君） 河野學君の発言を許します。河野學君。

○議員（7番 河野 學君） ありがとうございます。緊急質問をさせていただきます。

今回の7月市での子牛価格の大暴落といえますか、もう既に町長は担当課長、あるいは担当職員から情報は聞いておられると思いますが、初日が13万、2日目が10万ぐらい安かったですか。トータルで前回の市よりか10万ぐらい安い。

そして、宮日に高千穂市場は43万円台という、こういう残念な報道がなされております。あの日初日は特にですが、市場でずっと子牛価格の動向を見ておると、30万円以下の子牛が多く

て、非常に心配をしたところであります。

おまけに今回から、10月1日から施行されるインボイス制度によって、もう高齢者の方で、私も含めてそうですけど、ぎりぎりまで頑張っておられる方は、30万以下は赤字だと思いますので、こういう状態があと3年も4年も5年も続くと、5年先にはいいなるわという話もありますけれども、そこまで持ちこたえられるかなという心配をしております。

今日、じゃあどうして下さいとか、そういう質問、結果を求めるものではありませんけれども、今回のこの市場の動向を見て、町長がどういうふうに感じられたかを伺いますし、また何か妙案があるならお伺いをします。お願いします。

○議長（高館 英嗣君） 答弁を求めます。町長、佐藤貢君。

○町長（佐藤 貢君） お答えをさせていただきます。今、河野議員がおっしゃった、子牛価格の暴落等々については、当時所用があつて、通常、市には行くわけですけど、行ってなくて、宮日新聞等あるいは情報で知って、大変ショックを受けました。

私は、平成12年に野林振興課長に就任を、内示を頂いた日から、宮崎県で初めて口蹄疫が発生をしたときの消毒作業を、今の元気村のところでやったのが、それから1か月間、消毒作業等をして農林課長の始めでありました。

その後、価格暴落で市に行きますれば10万円以下、2万円、そういったことで大変これからどうなるんだというような思いで、農家の方々が牛を引いて帰っていかれる姿を見ました。

そういうことで、畜産等につきましても大変思い入れも強うございますし、本町の農産物の販売額にとりましても、たしか5割を超えているのが畜産の販売額ではないかというように記憶をいたしております。

そういうことで、郡内においても、本町の畜産関係に対する支援制度は、他の自治体、他の町村が、まねるとい言葉がいいのかどうか分かりませんが、いろいろと担当職員、あるいは農家の方々と話し合いながら、いろんな制度をつくり、今日までやってきたつもりでもございます。

そういう中で、ウクライナの戦争が要因かどうかというのは分かりませんが、物価高騰、原油等・資材価格の高騰、そういったことによりまして、畜産を取り巻く状況、そしてやはり子牛価格が全国的に見ても、宮崎県においても価格はずっと下がってきておる。80万近くしておりましたものが、今お話がありましたように、四十数万円、20万円ぐらい下がってきておると、そういう中で大変、今お話がありましたとおりの心配もしております。

議会の皆さん方の御理解をいただいて、昨年、今年、物価高騰対策として、畜産農家の方々に支援金を交付させていただきました。しかし、あれはあくまでも物価高騰、物価が高騰で子牛価格下落しているけれども、頑張っていましょやねというような思いのある支援ではなかった

かなと思います。それで全てが解決できる額でもなかったというふうにも理解をしております。

ただ、今回6月議会で認めていただいて、すぐに担当課に言って、すぐ農家の方々に支給するようというところで支給しましたところ、大変農家の方々も、やっぱり気が萎えているときに、ああいう形でも役場が考えてくれたことはありがたいねということでありました。本当にそう言っていただけることがうれしいなというふうに思っています。

しかし今後の、今度といいますか、ずっと続いております、この子牛価格の暴落、これについてはやはり大変な危機感も持っておりますし、はっきり申し上げまして、このことについて、この日之影町のみで解決できるものというふうには、河野議員も当然思っておられると思います。

これはやっぱり国として、あるいは県として、国のほうも先般、町村会で国会議員に要望したときにも、畜産関係のこういったお話もさせていただきました。数千億円を予算化したという話でありますけれども、それがまだまだ正直目に、私自身も目に見えない、農家の方々も目に見えないのではないかなというふうに思います。

そういったことを踏まえながら、担当課長の方に、やはりJAとして、畜産農家の組織、市場を運営しているJAとして、まずはどのように思っているのか、この危機を。そしてどういうふうに対応していくのか、何ら今、我々にも伝わってきておりません。

まずはそこから、畜産農家の振興会、あるいはJAさん、そして行政が入らなければいけない、そして議会の皆さん、西臼杵全体のみで進むのかどうか分かりませんが、宮崎県、そういった中で対策を取る、そういうことを先頭を切って、その姿を見せてほしいというのが、正直私の気持ちであります。

そういう中に参画をして、行政としてみんなで応援せないかんということであれば、皆さん方にまた御理解をいただくことも出てくるのかなというふうにも思っているところでございます。

日之影町のみでは、通常の支援策とかやっているとはいえますけれども、やはりこれだけ全国的な、何ていいますか、肥育農家が価格高騰で買い控えをしたから安くなっておるんだとか、いや、消費が進まないから、肉が売れないからこういう状況になっているんだとか、いろいろありますけれども、いろいろ話も聞きますけれども、やはりJAさん、どういうことでこういうふうになっておるのかというのを、プロでありますから、まずは話していただいて、行政として要望なり、また一緒に考えるという形が、まずは大事かなというふうに思います。

河野議員がおっしゃったように、このことについては大変危惧もしておりますし、若い後継者といえますか、若い世代の畜産農家の方々も、今頑張っている姿もちゃんと知っております。

彼らが投資をして、それを返さないかんという時期に来ておる中で、大丈夫かな、子育てをしながら畜産頑張っていけるとかなということは、大変心配もしておりますので、今後また私は私の立場で、またJAの組合長にも話もしておりますけれども、そういう取組をしながら、方向性

が出た中で、今後皆さんと共々に考えていくことが大事ではないかなというふうに、今は考えているところでもございます。

以上です。

○議長（高館 英嗣君） 河野學君。

○議員（7番 河野 學君） 前回の結果が、今、西臼杵は43万円でしたけど、県の平均が50万4,300円、全国が54万8,000円と、全国的に下がっておるわけですけども、今、町長が言われたように、日之影町だけではだめだと。

それでやっぱ町長がリーダーになって、日之影町とか、高千穂とか五ヶ瀬とかは言わんで、3町の町長さんで話合い、そしてまた農協にも言って、もう西臼杵一丸となって取り組んでいかんと、高齢者の人たちはもう疲れた、やる気がなくなった、辞めたといって辞めてしまうと、高千穂市場の上場頭数が少なくなると、高千穂市場の運営自体が厳しくなってくるのではないかなと、非常に心配をしているところであります。

また今言われたように、若い人たちがクラスター事業で蓄舎を増築したり、牛を増頭したりして、支払いが来た、支払いは待ってくれません、これは。金利も安くはなりません。

この若い人たちのやる気をそぐような価格でありますので、ここを何とか、この若い人たちの救済をやっていかないと、これ本当に日之影町、畜産の経済6割近くを占めておりますけど、日之影町自体が危うくなってくるのではないかなと、心配しているところであります。その考えは、また町長にもう一言お願いします。

○議長（高館 英嗣君） 町長、佐藤貢君。

○町長（佐藤 貢君） 今の御意見に何ら反論というか、違う意見を言うこともございません。

言いましたように、やはりうちのみで解決できること、それができないことがあるというふうに思います。そういうことを踏まえて、高千穂、五ヶ瀬、町長、等を含めて、私自身も申し上げて、農協長にも、先般から市に行ったときには、農協長には私は個人的にもお話ししております。何とかこれ対応せんといかんことはないですかと、しかしまだ何ら出てきておりませんので、農林課長には、3町の担当課長なり、また畜産部の技術員等々で、どういう原因は何かとか、そういったことをしながら、農協として何ができるのか、農協として思い切った支援を打ち出すのか、それに3町にお願いがあるのかとか、やはり先頭を切って走ってくれんと、そういった生産者の組織がJAでありますから、そのためにJAの幹部もいるというふうに私は理解しておりますので、そういうことは今御指摘がありましたとおり、3町長を含めて逆にお願いをしながら頑張っていければというふうに思っているところであります。

また、県の町村会のほうでも、一昨日東京から帰るときに、事務局長に電話をして、ちょっとそういった資料を集めて、町村会として、あるいは県の議長会を併せて、県へのお願いが可能で

あるのかどうか、そういったことも資料集めをしてくれという形も指示を致しておりますので、できる限りそういう動きはしていきたいというふうに思っております。

以上であります。

○議長（高館 英嗣君） 河野學君。

○議員（7番 河野 學君） 農林振興課長が私にも聞いてくれんかなと、顔をしておられますので、農林課長、市場で直接現場を見て感じられたと思うんですが、いや、どうしなさいとか難しいことは言いません、課長が感じただけのことを答えてもらえませんか。

○議長（高館 英嗣君） 答弁を求めます。農林振興課長。

○農林振興課長（平川 誠二君） 当日、私も市のほうには、一生産者として参加させていただいておりました。市の場で農家さん一人一人からお話をすると、二言目にはもう辞めたほうがいいという言葉を受けたのが印象的でした。

なかなか今の価格では、そのように考えてしまうということは、もうしょうがないことかもしれないけれども、役場として、JAとして、じゃあ何ができるのかというところを、今情報を集めて考えられる今後の状況の一つ一つ整理して、これがこうなったらもっとうこういうことが起こってくるというような波及する効果とかも、波及する状況とかも全て一つ一つ整理しながら、それに対しての対策をどうやって打っていくという話をしていくべきだということで、先ほど町長もおっしゃられましたけれども、そういった形で私も考えております。

近々JAが主催しております技術委員会等もありますので、そういったときに話をさせていただいて、3町共有、また県も含めて情報を共有して、それぞれの県は県、町は町、JAは全国組織のJA、全農、そういったところにどのように要望、話をつなげていくか、上に上げていくかというところを話していきたいと思っております。

以上です。

○議長（高館 英嗣君） よろしいでしょうか。以上で河野學君の緊急質問は終わりました。

----- . ----- . -----

○議長（高館 英嗣君） 以上で、本日の議事日程は全部終了しました。

令和5年第4回日之影町議会臨時議会はこれにて閉会いたします。御苦労さまでした。

午前10時42分閉会

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

年 月 日

議 長

署名議員

署名議員